

設置マニュアル Installation Manual

フリースタンディングワインキャビネット WPsd 5262 Vinidor

最新版マニュアルのダウンロードはこちら



- 人への危害、財産の損害を防止するため、本書に記載されている事項を必ずお守りください。
- 設置・および施工において、本書に従わなかったために生じた故障・事故などについて当社は責任を負いかねます。
- お客様による設置工事は危険です。建物を傷めたり、ケガの恐れがあります。
据付・設置は必ずお買い求めの販売店までご依頼ください。

安全上の注意

必ずお守りください

- 本手順書では、人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
- 設置および施工において、本手順書に従わなかったために生じた故障・事故などについて当社は責任を負いかねます。

誤った使い方をしたときに生じる内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。



警告



注意

「死亡や重傷を負うおそれがある」内容です。

「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある」内容です。

お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



警告



- 交流100V・定格15A以上のコンセントを単独で専用に設けてください。
- 電源プラグ周辺のほこりなどは定期的に取り除いてください。
- 電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。
- 電源プラグを抜くときは、コードを持たずに電源プラグを持って抜いてください。
- 長期間使用しないときやお手入れの際は、必ず電源コードを抜いてください。
- 異常・故障時は直ちに使用を中止し、電源プラグを抜いてください。



- 濡れた手で、電源プラグに触らないでください。
- 電源プラグを、冷蔵庫の背面で押し付けしないでください。
- 電源プラグやコードを破損するようなことはしないでください。
- 本体や電源コードに水をかけないでください。
- 冷蔵庫の周囲は、必ず必要な放熱スペースを守ってください。
- 冷蔵庫の上には、絶対にものを置かないでください。
- 延長コードを使用しての設置はお控えください。
- 本製品は一般家庭専用です。業務用、或いは屋外や戸外でのご使用はお控えください。

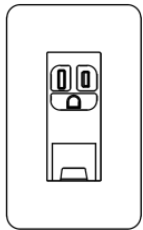


アース（接地）・漏電遮断機を必ず取り付けてください。

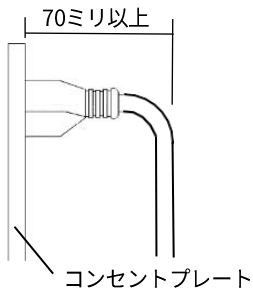
電源と設置スペース

一次側電源コンセント

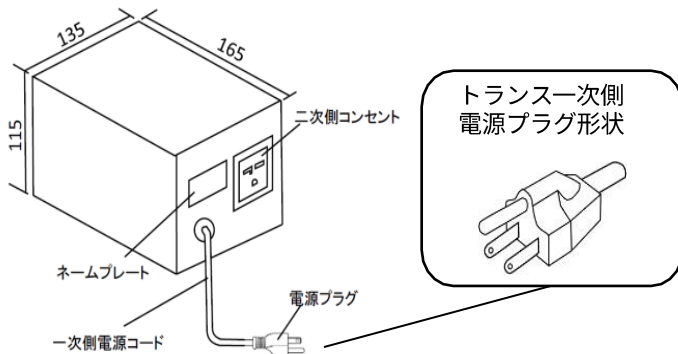
- 定格 15A以上、単相100Vの専用回路を設けてください。
- 一次側コンセントは必ずアースターミナル付接地コンセント（3P）をご用意ください。



パナソニック電工
品番：WN1131（相当品）



昇圧トランス



【100V → 220-240V 昇圧トランス仕様】

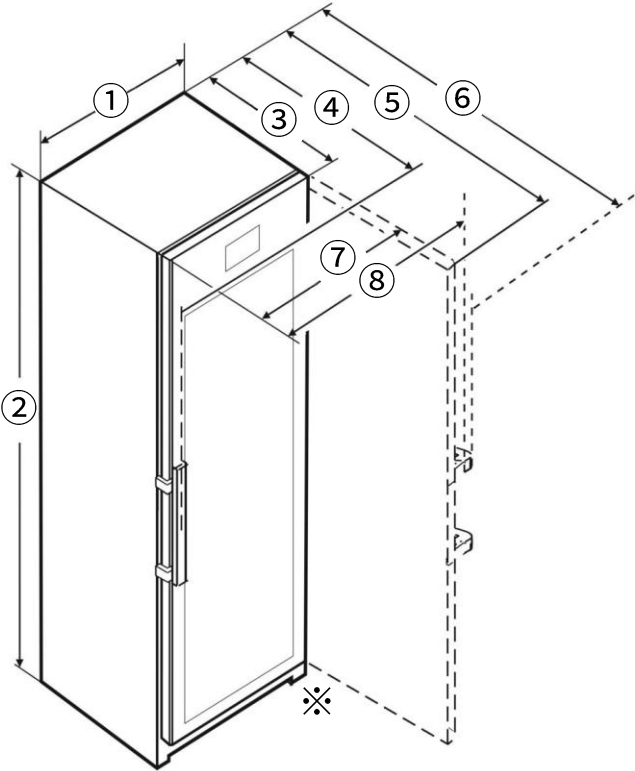
- ・ 外形寸法（W x D x H）：135 x 165 x 115 mm
- ・ コード長さ：1.7m
- ・ 定格容量：600VA
- ・ 入力：単相100V・50/60Hz
- ・ 出力：単相 230V
- ・ 質量：6.3 kg

⚠ 注意

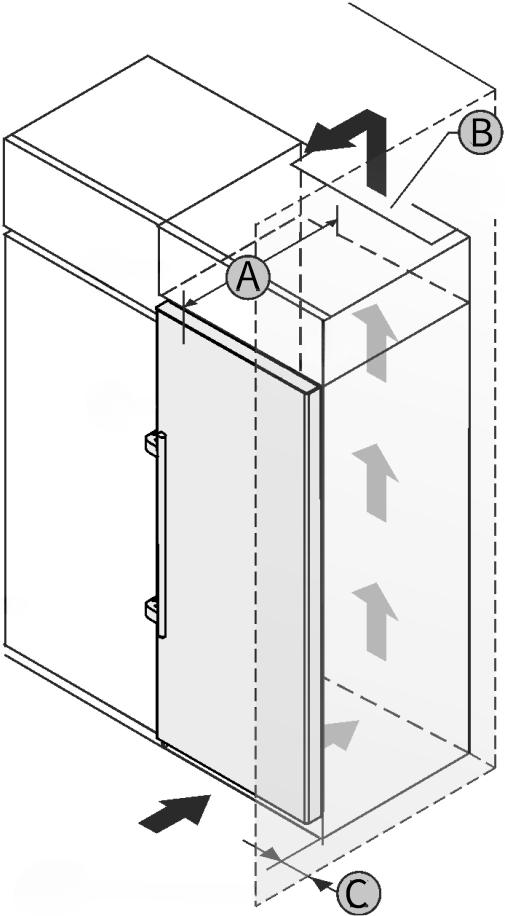
- 本機器の周辺適用外気温（室温）：10℃～43℃
- 機器は、暖房・温熱器具等からの熱気や直射日光の当たらない場所、湿気が少なく風通しの良い場所に設置してください。
- 通気が悪く湿気の高い設置環境では、機器の表面に結露が発生することがあります。
- 電源コンセントは、機器の仕様、定格電流にあったものをご用意ください。
- 昇圧トランスの仕様を参照の上、設置スペースをご用意ください。
- アース（接地）・漏電遮断機を必ず取り付けてください。

電源と設置スペース

機器本体寸法



機器スペース寸法



| | |
|---|--------|
| ① | 599mm |
| ② | 1850mm |
| ③ | 675mm |
| ④ | 720mm |
| ⑤ | 1230mm |
| ⑥ | 1245mm |
| ⑦ | 609mm |
| ⑧ | 653mm |

| | | |
|----------------------|--------------------|-------------------------|
| A (mm) | 機器奥行き (スペーサー含む) | 690mm |
| B (cm ²) | 通気面積 | min. 300cm ² |
| C (mm) | 機器側面から壁との距離 | min. 57mm |

※ドア90°開閉時

電源と設置スペース

ビルトイン設置時の設置条件

- 本機器はキッチンキャビネットへのビルトイン設置が可能です。（別紙の外形寸法図の放熱スペースを確保してください。）

ビルトイン時の最小放熱スペース

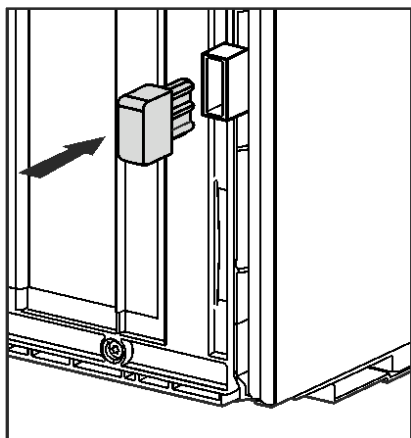
- ・ 機器側面：各15mm ※1
- ・ 機器背面： 15mm
- ・ 機器上部： 20mm ※2

※1 本体ドア表面と隣接するキャビネットの表面を揃えて設置する場合は、クリアランスの条件が異なります。詳細な条件については6ページをご参照ください。

※2 背面上部に300cm²の開口を設けられない場合
または単独置き設置の場合は、最低でも上部の
クリアランス：50mm以上を確保してください。

- 機器設置床面と機器前床面は、必ず水平・同レベルに仕上げてください。
 - 本体背面上方へは、最低300cm²の開口を設けてください。またその先を密閉するなど、空気の循環が遮られるような設置環境でのご使用はお控えください。
- ※ 最小放熱スペースは必ず確保してください。

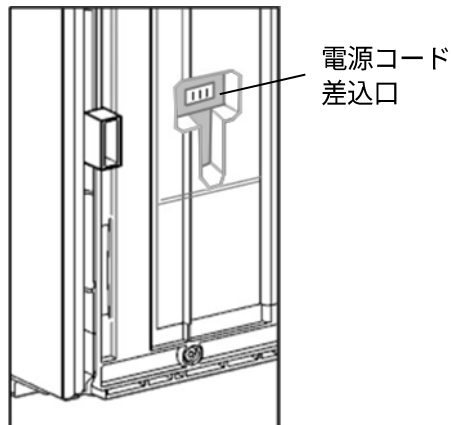
本体の設置



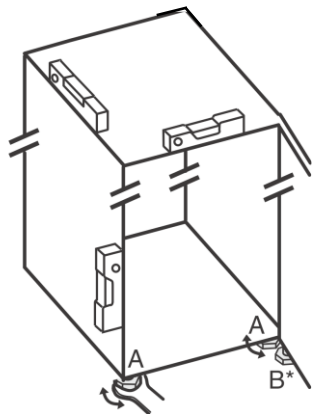
- 本体を設置する前に、付属のスペーサー（15mm）を背面下部左右に取り付けてください。

電源コードの差し込み

- 本体を押し込む前に、付属の電源コードを機器背面の電源コード差込口に差し込んでください。
- 電源コンセント、及び昇圧トランスの設置位置は、機器の使用中でも、コードの抜き差しが容易にできる位置に設けてください。



水平の調整



- 高さ調整脚 (A) を付属のスパナを使用して回し、本体を水平に調整してください。
- ドアをサポート：マウンティングブロック (B) の下にあるベースを床に触れるまで回してください。その後さらに90°回して固定してください。

電源と設置スペース

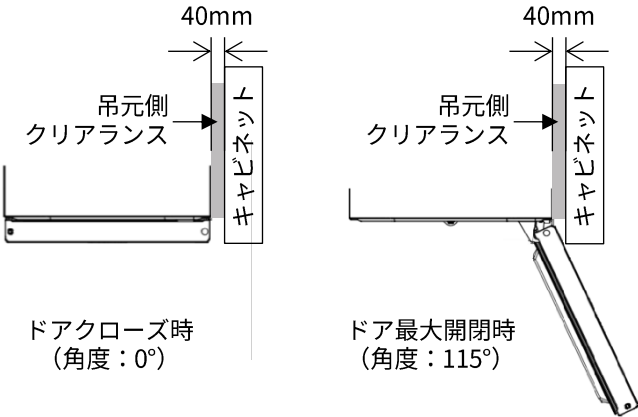
ビルトイン設置時のドア開閉クリアランス

- ①

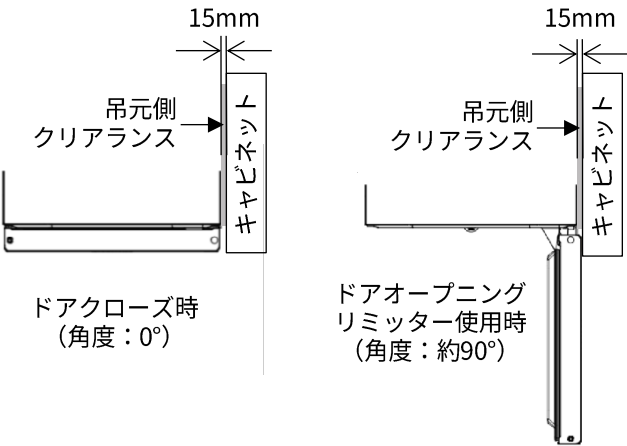
ドア表面と隣接キャビネットの表面を揃える場合
- ドア表面と収納キャビネットの表面を揃える場合、吊元側のクリアランスを最低40mm確保してください（図A参照）。
- ドアオープングリッター（品番：9096 414）を使用した場合は、吊元側のクリアランスを15mmにすることができます（図B参照）。
- ②

ドアの最大開閉角度を維持して機器と隣接キャビネットとのクリアランスを最小にしたい場合
- 製品ドア表面をキャビネット表面から35mm手前に引き出すことで、吊元側のクリアランス=15mmでドアを全開にすることができます。（図C参照）

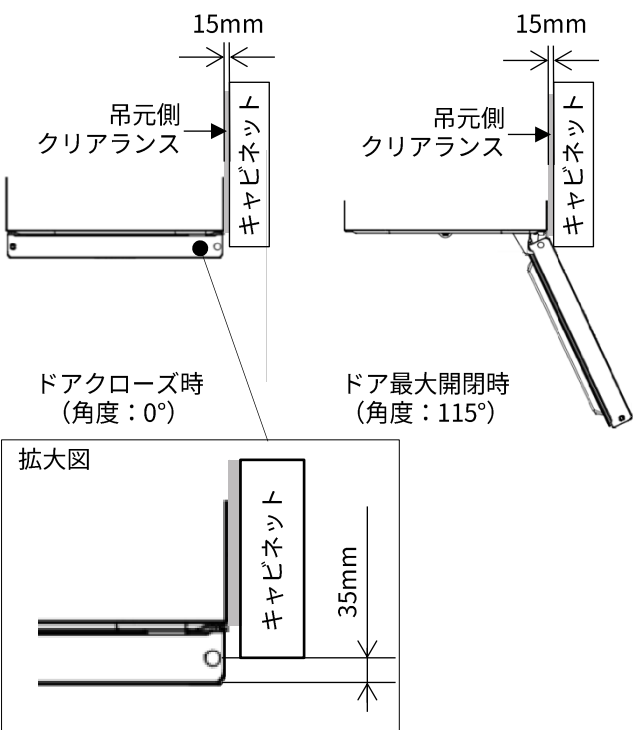
図A



図B



図C

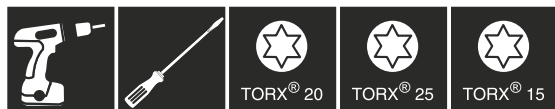


ドア吊元の交換

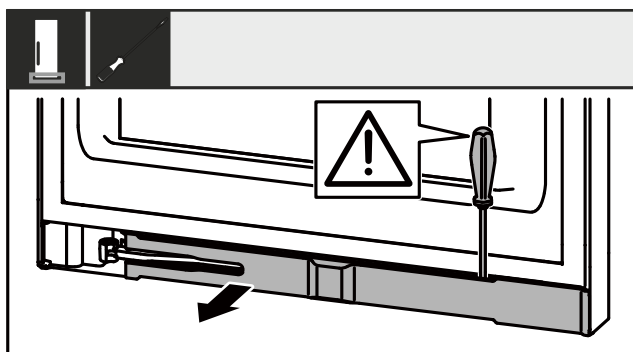
安全上の注意

- ドアを取り付けが正しく行われないと、けがの恐れがあります。
- ドアにはガラスを使用しています。破損や落下には十分ご注意ください。

使用工具



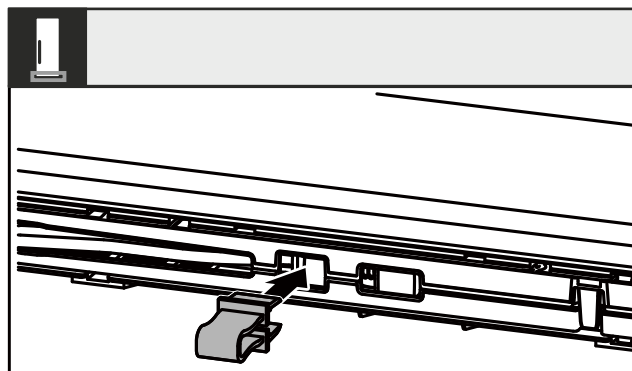
1. ドアダンパーの取り外し



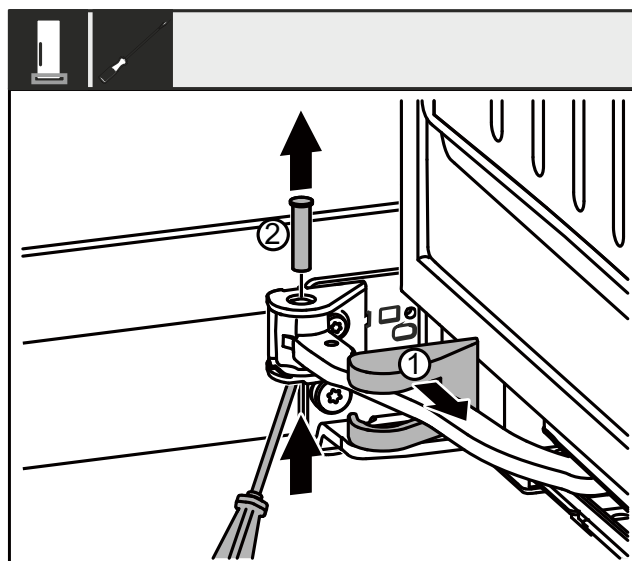
- 図1
- ドアを開き、マイナスドライバー等でカバープレートを取り外します。

⚠ 注意

- 工具等でドア、ドアパッキン等を傷つけないように慎重に作業を行ってください。
- ケガをする危険があります。ドアを取り外す際は、しっかりと保持し、落とさないように慎重に作業を行ってください。

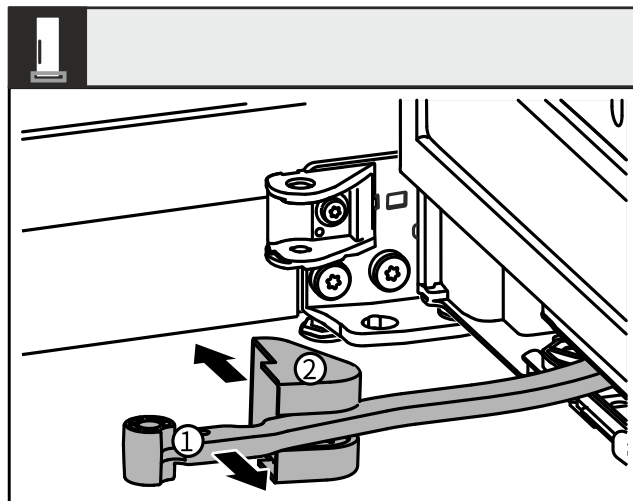


- 図2
- ドアダンパーに安全ストッパーを取り付けます。

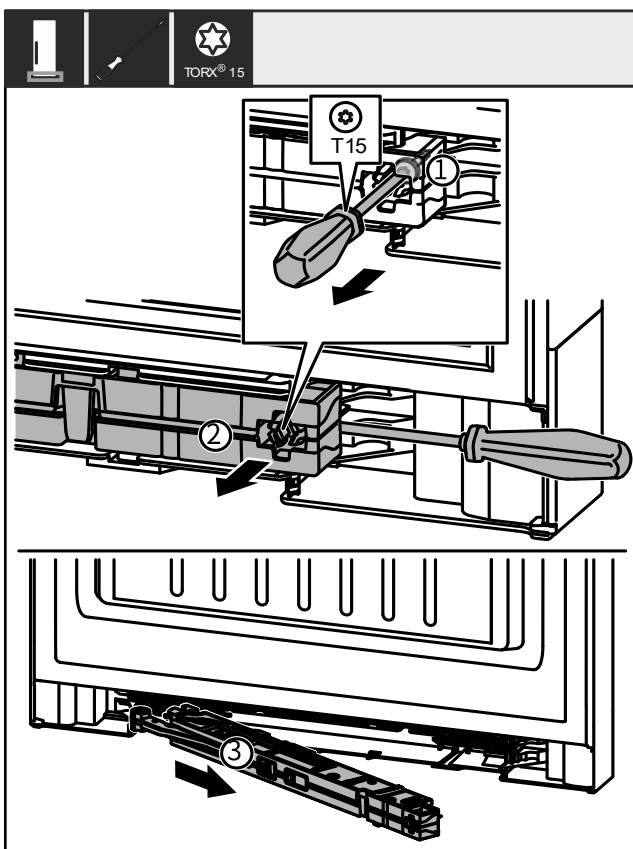


- 図3
- ベ어링カバー ① を取り外し、ダンパーレバーに沿ってスライドします。
 - ドライバー等を使用し、ボルト ② を下から持ち上げます。
 - ボルトを上から引き抜きます。

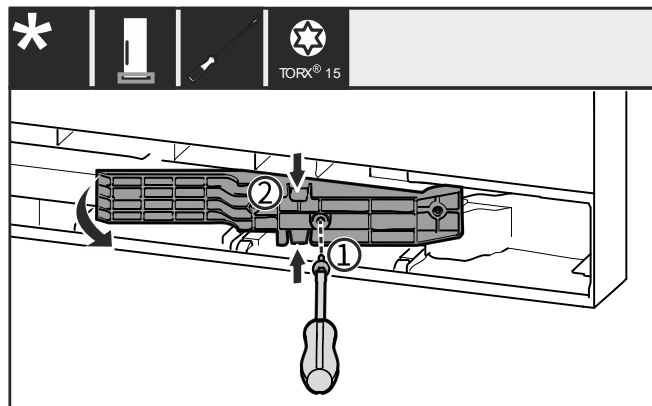
ドア吊元の交換



- 図4
- ダンパーレバー ① をドアの戸先側の方向に動かします。
 - ベ어링カバー ② を取り外します。

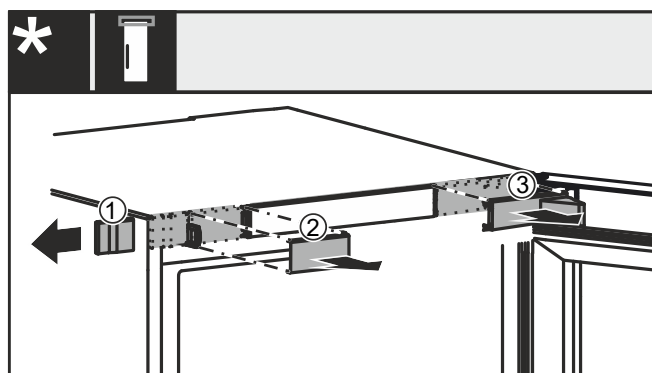


- 図5
- T15のトルクスドライバーでねじ ① を緩めてください。
 - マイナスドライバーをダンパーの背面 ② に差し込み、③ の方向にダンパーを引き抜きます。



- 図6
- T15のトルクスドライバーでねじ ① を緩めてください。
 - ② の上下フックを外し、手前にスライドさせるようにして引き抜いてください。

2. 配線の取り外し



- 図7
- 機器戸先側のカバー ① を横にスライドするように取り外します。
 - 操作パネルの左右カバー ②、③ を画面を破損させないように注意しながら操作パネルを手前側に引き、取り外します。

ドア吊元の交換

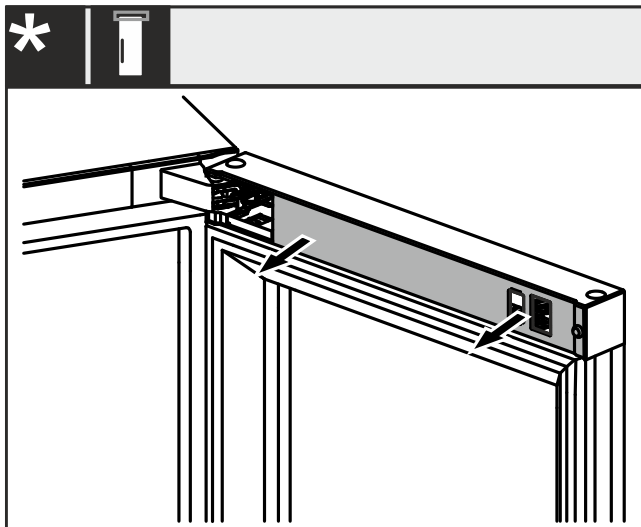


図8
■ ドア内側の上部カバーを手前に引き、取り外します。

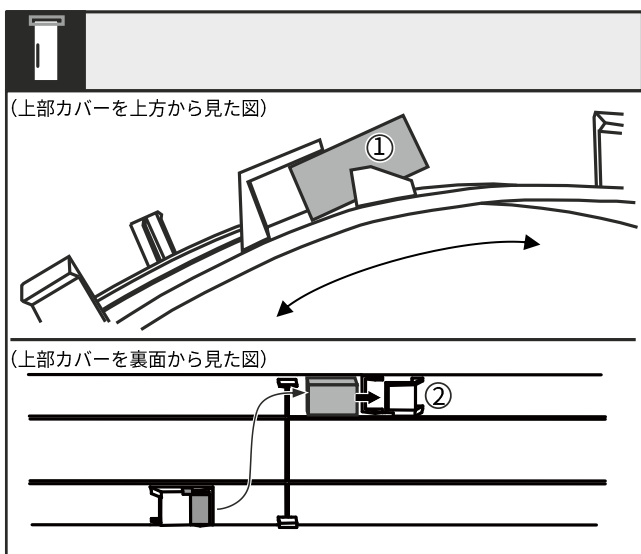


図9
■ 図8 で取り外した上部カバーを弓形に曲げ、ドアマグネット ① を固定クリップから取り外します。
■ 取り外したドアをマグネットを逆側の固定クリップ ② に取り付けます。

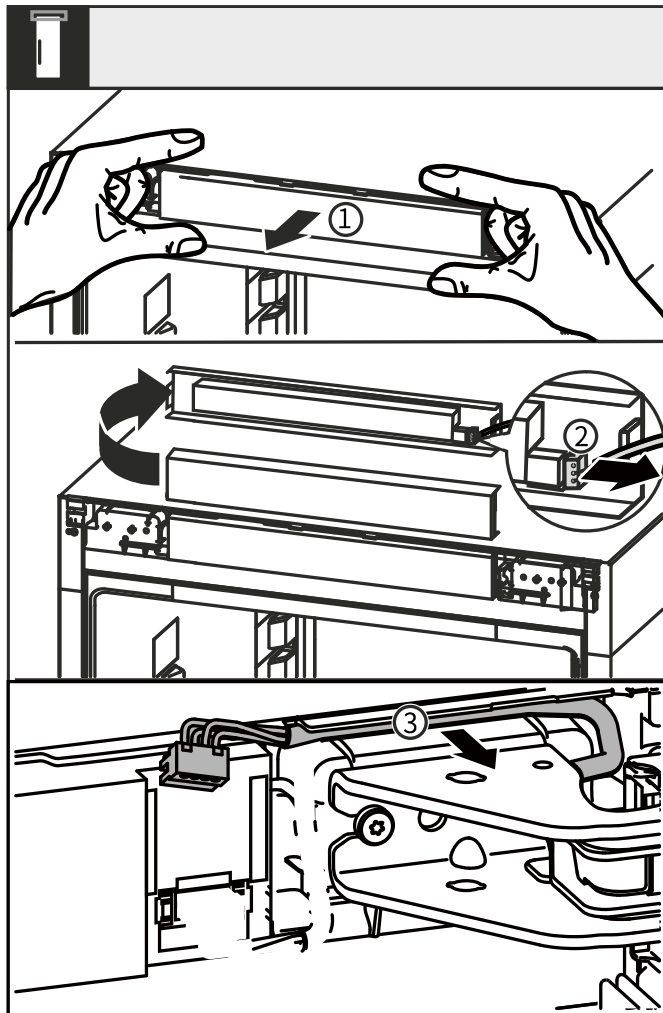


図10
■ 画面を破損させないように注意しながら操作パネル ① を手前側に引き取り外します。
■ 操作パネル ① を裏返し、ツメを押しながらコネクタ ② を慎重に取り外します。
■ コネクタ ② の配線 ③ を溝から手前側の方向にやさしく取り外します。

ドア吊元の交換

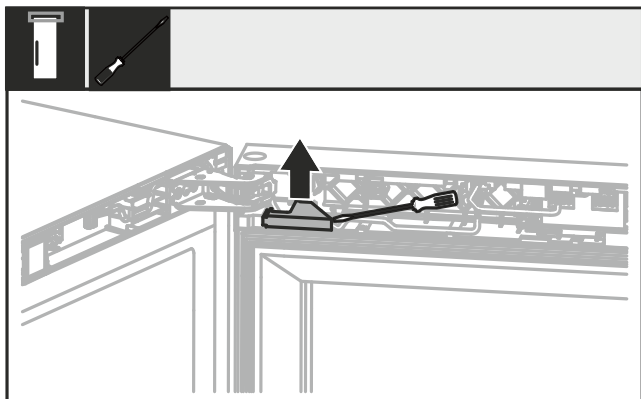


図11

- マイナスドライバーを使用し配線カバーを上方向へ持ち上げ、引っ張るようにして取り外します。

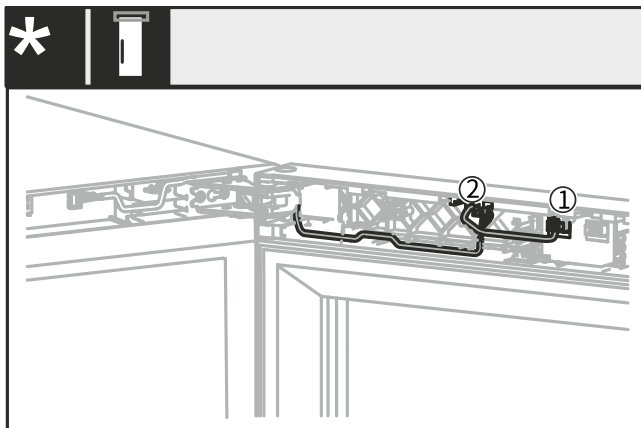


図12

- コネクター ① を手前側に引き、慎重に取り外します。
- コネクター ② を手前側に引き、慎重に取り外します。

安全上の注意

- ドアを取り付けが正しく行われないと、けがの恐れがあります。
- ドアにはガラスを使用しています。破損や落下には十分ご注意ください。

3. ドアを取り外し

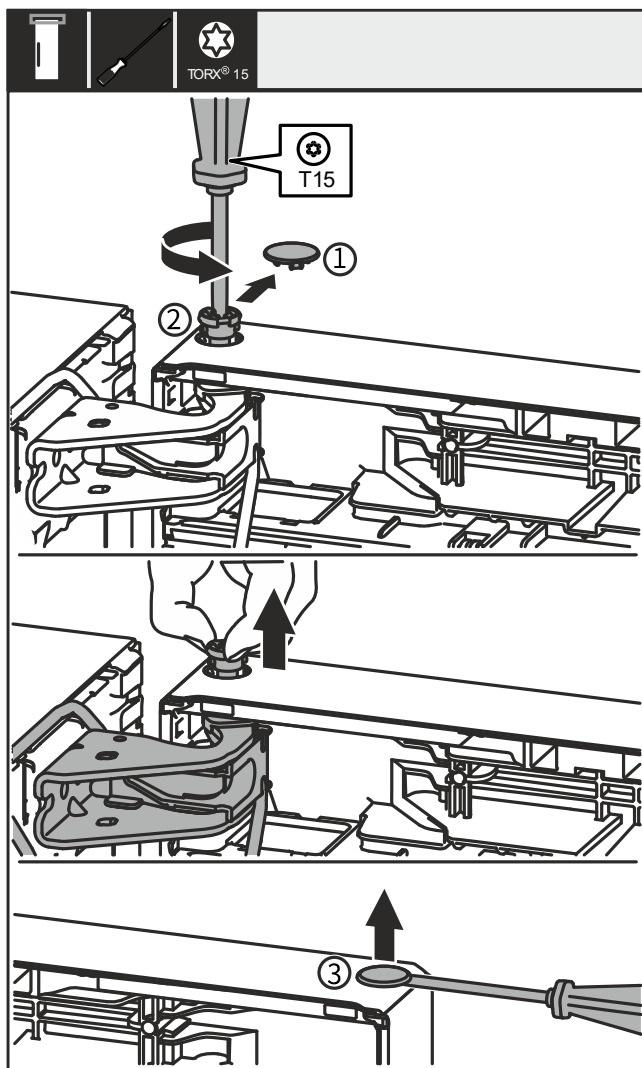


図13

- マイナスドライバーを使用し保護カバー ① を慎重に取り外します。
- T15のトルクスドライバーでボルト ② を緩めます。ドアを支えながら、ボルト ② を手で上方向に引き抜きます。
- 取り外した保護カバー ① の反対側の保護カバー ③ もマイナスドライバーを使用し慎重に取り外します。
- ドア本体を慎重に持ち上げ、ドアを取り外します。

ドア吊元の交換

4. 電子ロックの付け替え

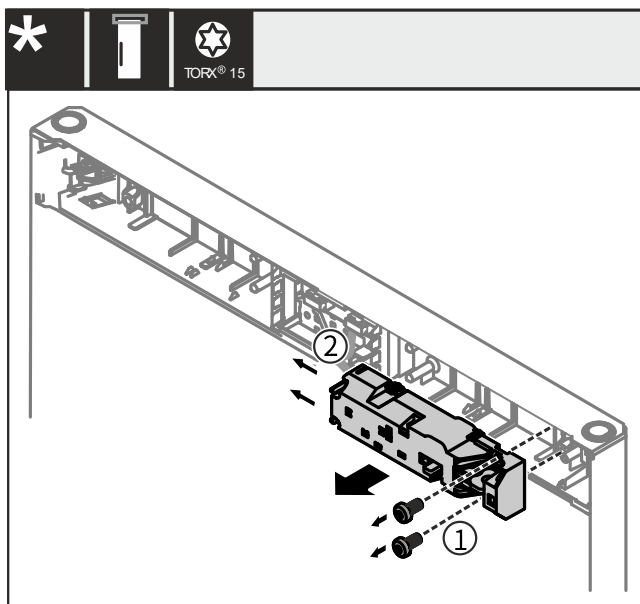


図14

- ドア内側の戸先側に取り付けられている電子ロックのねじ ① を緩めて取り外します。
- 電子ロックのツメ ② を押しながら横方向にスライドします。
- 電子ロックを手前側に引き、慎重に取り外します。

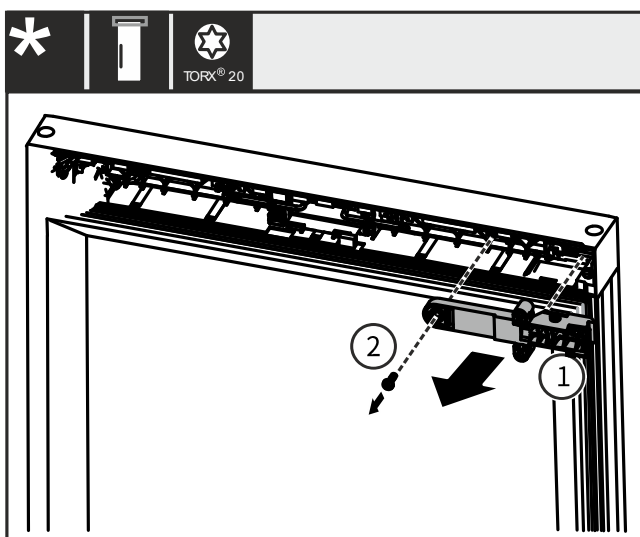


図15

- 電子ロックの固定具 ① のねじ ② を緩めて取り外します。
- 電子ロックの固定具 ① を手前に引き、慎重に取り外します。

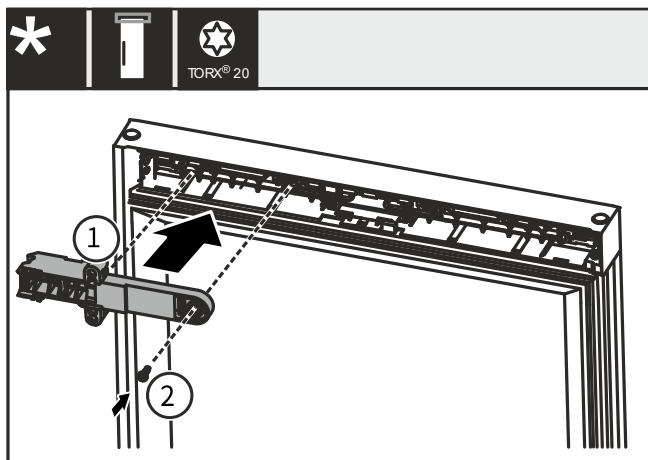


図16

- 図15 で取り外した電子ロックの固定具 ① を180度回転させ、新しい戸先側に取り付けます。
- 電子ロックの固定具 ① とドアをねじ ② で固定します。

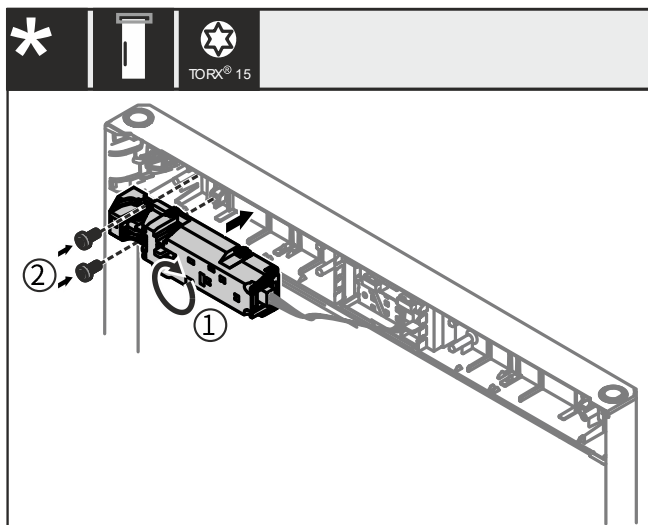


図17

- 図14 で取り外した電子ロック ① を180度回転させ、新しい戸先側に取り付けます。
- 図14 で取り外した電子ロックのねじ ② で電子ロック ① とドアと固定します。

ドア吊元の交換

5. 上側ヒンジの付け替え

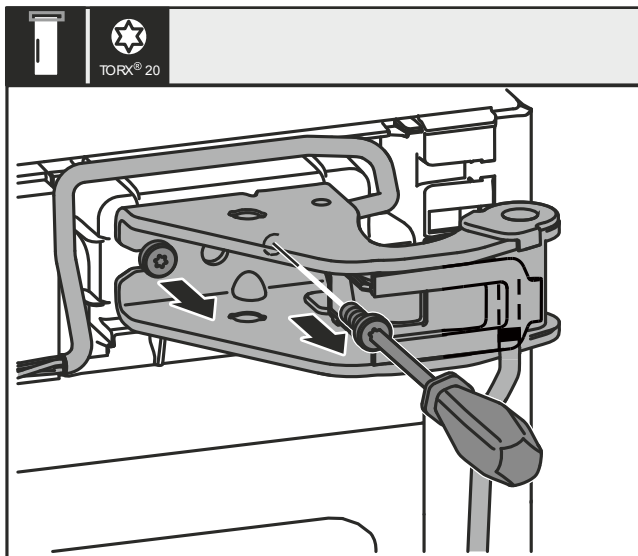


図18

- 機器本体に取り付けられているヒンジのねじ2本を緩め、取り外します。
- ヒンジを手前に引き、取り外します。

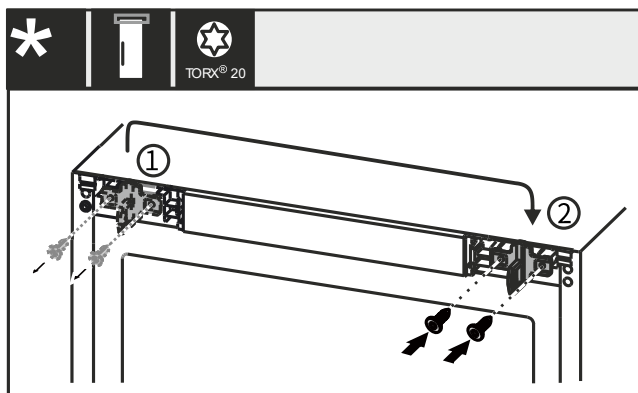


図19

- 機器本体に取り付けられている電子ロックのフック①のねじを緩め、取り外します。
- 取り外した電子ロックのフック①を新しい戸先側②に取り付け、ねじで固定します。

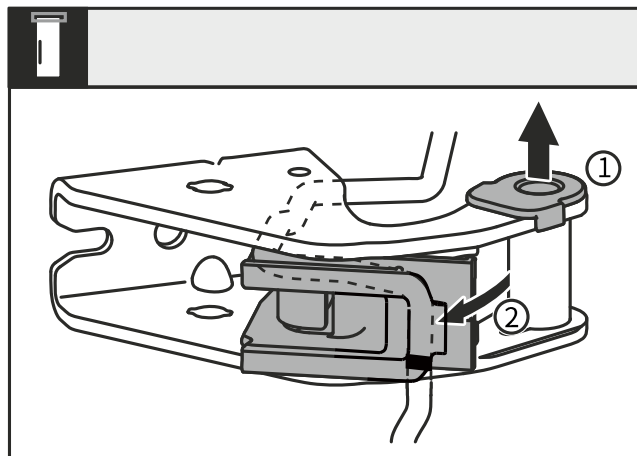


図20

- 図18で取り外したヒンジのベアリングブッシュ①を取り外します。
- ケーブルホルダー②を回転させます。

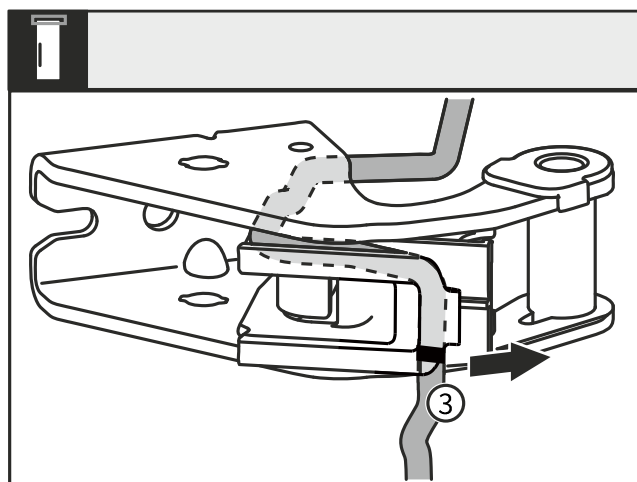


図21

- ヒンジからケーブルホルダー③ごと配線を取り外します。

⚠ 注意

- 工具等で配線を傷つけないように慎重に作業を行ってください。
- 取り付け・取り外しの際に配線をヒンジに挟まないように十分注意してください。

ドア吊元の交換

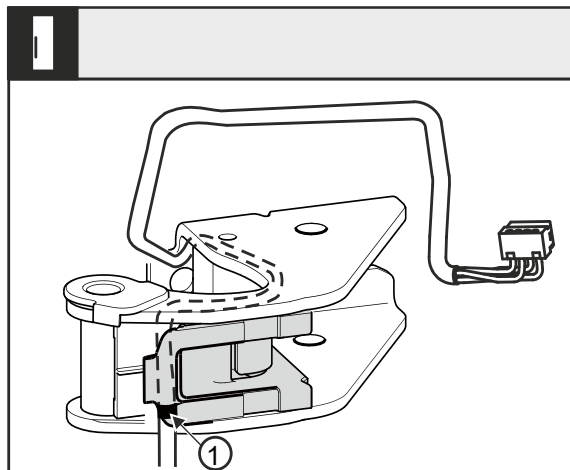


図22

- ヒンジを左右反転させます。
- 配線をヒンジ上側の溝に沿わせながら入れ込みます。
- 中心マーク①がケーブルホルダーの端に来るように配線の位置を合わせます。
- ケーブルホルダーを取り付けます。

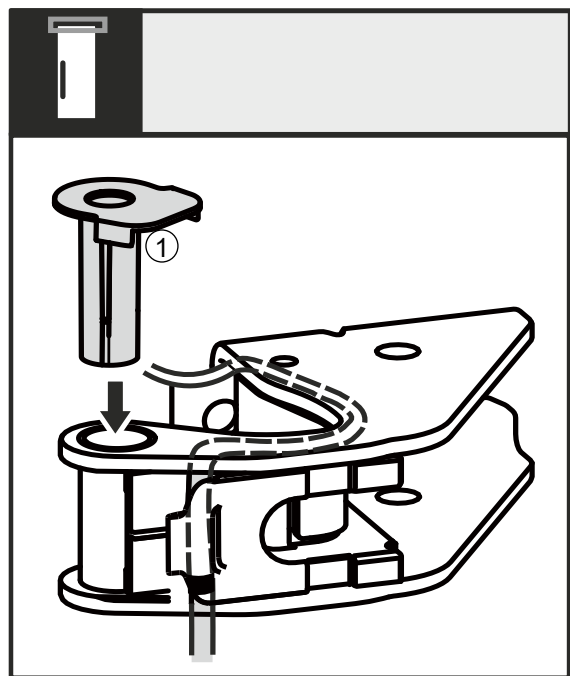


図23

- ベ어링ブッシュ①を反対側から移設し、穴にはめ込みます。

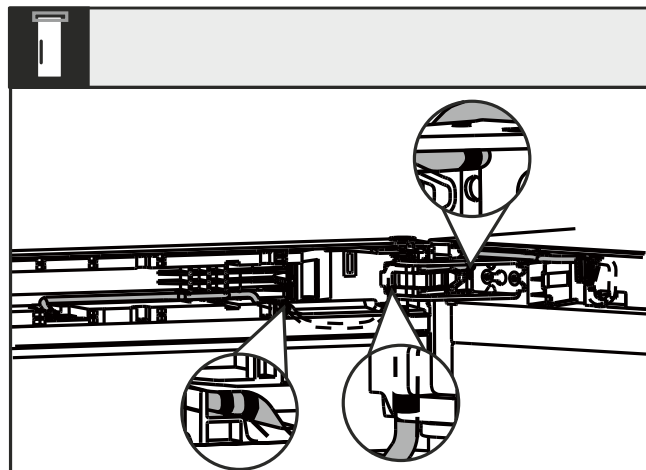


図24

- ヒンジ交換後、配線上のマークが図の各位置に合っていることを確認してください。
- 配線をヒンジ上側の溝に沿わせながら入れ込みます。

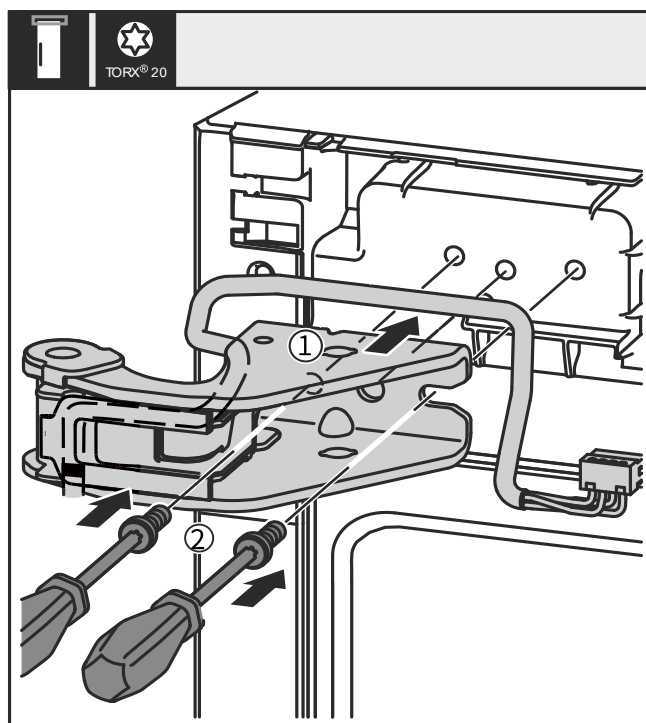


図25

- ヒンジを穴位置①に合わせます。
- T20のトルクスドライバーでねじ②を締め、ヒンジを固定します。

ドア吊元の交換

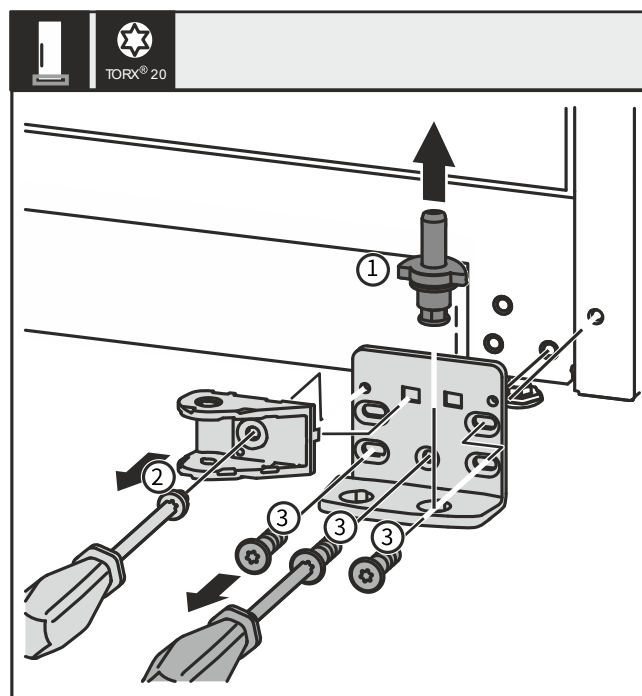


図26

- ベ어링ピン ① を上方に向かって完全に引き抜きます。
- T20のトルクスドライバーでダンパー接続部のねじ ②、金具固定用ねじ ③ を取り外します。

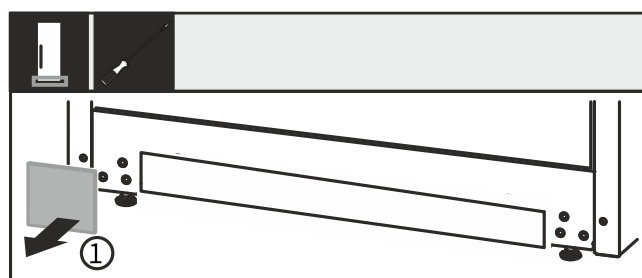


図27

- 金具が付いていない反対側のカバー ① を外します。

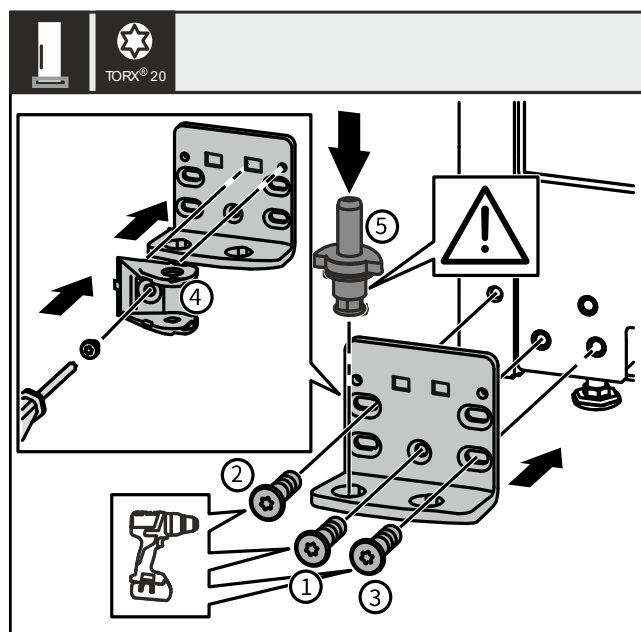


図28

- 金具を新しい戸先側に移動させます。
- T20のトルクスドライバーで真ん中のねじ ① を先に軽く締め、続いてねじ ②・③ を仮留めします。
- ねじ ①～③ を本締めして金具を固定します。
- 図25で取り外した ② のダンパー接続部品を180度回転させ、取り付けます。
- ベ어링ピン ⑤ を上から差し込みます。このとき、ツメが後ろに向いていることを確認してください。

ドア吊元の交換

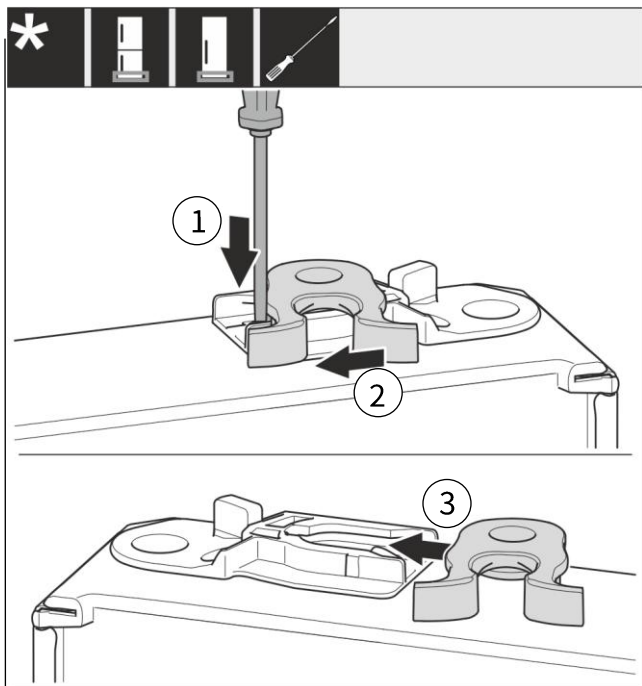


図29

- ドア底面が上にくるように回転させます。
- マイナスドライバーでツメ ① を押しながら ② の方向へスライドしガイドブッシュを取り外します。
- ガイドブッシュを左右反転させながら、反対側へ移動し、溝にはめ込みます。
- 作業が完了したら、ドアの上下を元の向きに直します。

6. ドアハンドルの付け替え

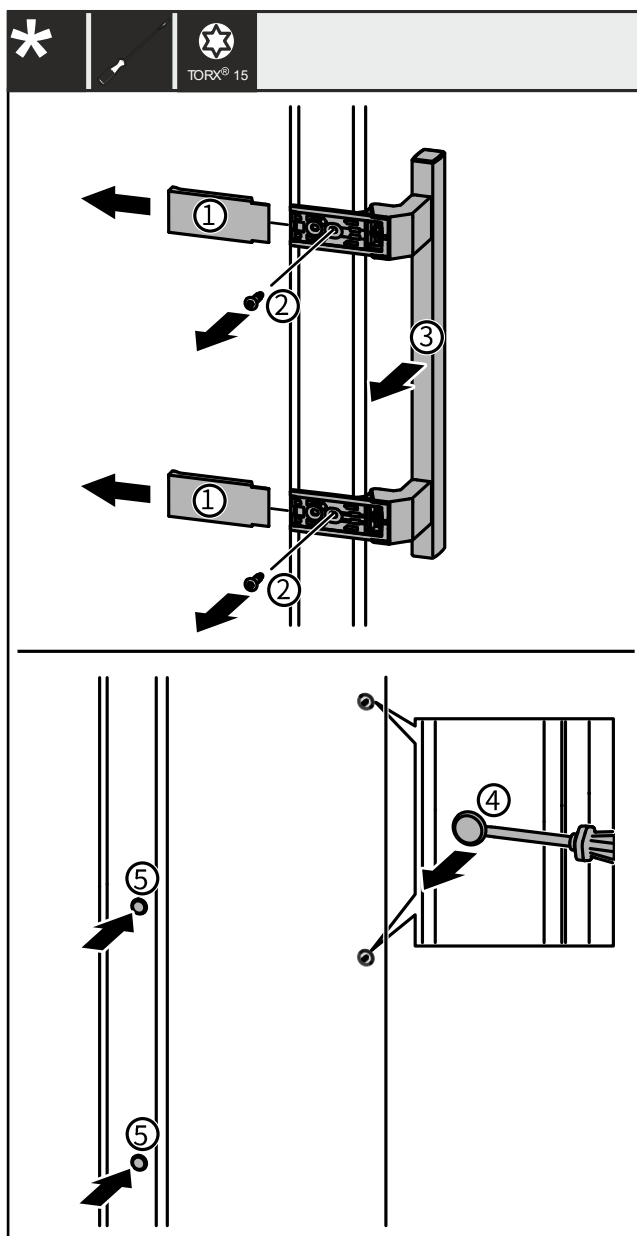


図30

- カバー ① をスライドさせて取り外します。
- T15のトルクスドライバーでねじ ② 2本を取り外します。
- ドアハンドル ③ を取り外します。
- ドアを傷つけないように注意しながら、マイナスドライバー等で新しい戸先側のねじ穴カバー ④ を外します。
- 外したねじ穴カバーを反対側 ⑤ に取り付けてください。

ドア吊元の交換

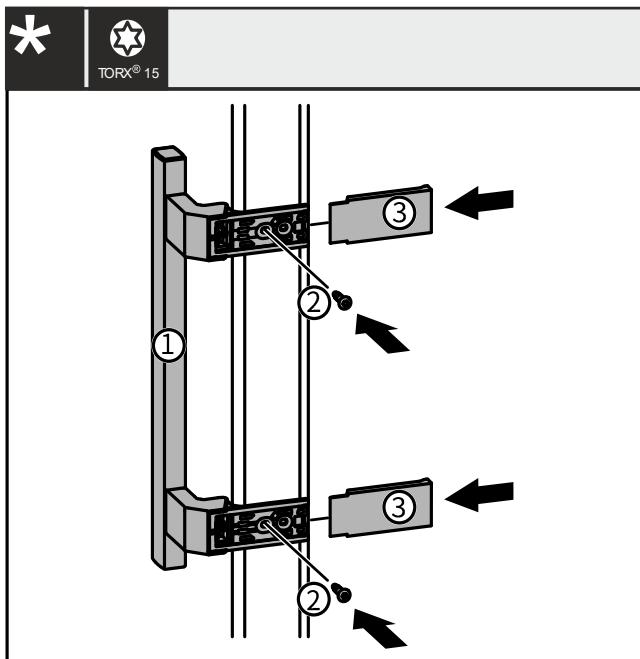


図31

- ドアハンドルを左右反転させて、反対側に移動します。
- ねじ穴は同じ高さ位置の反対側にあります。
- T15のトルクスドライバーでねじ②2本を締め、ドアハンドルを固定します。
- カバー③をスライドさせて取り付けます。

7. ドアの取り付け

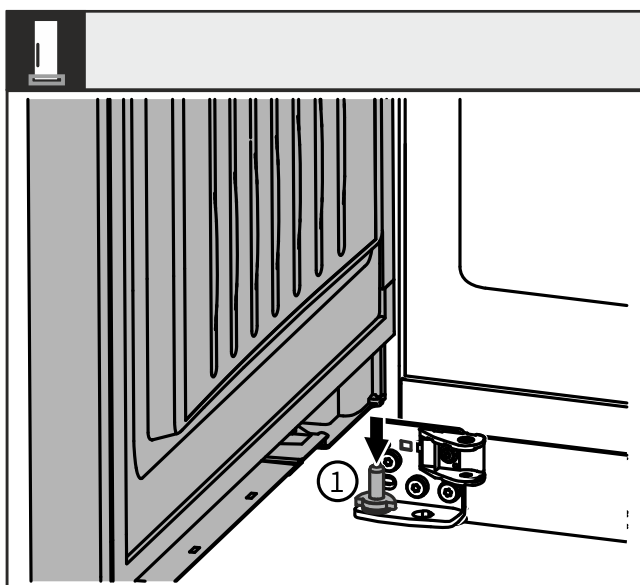


図32

- ドア下側をベアリングピン①にはめこみます。

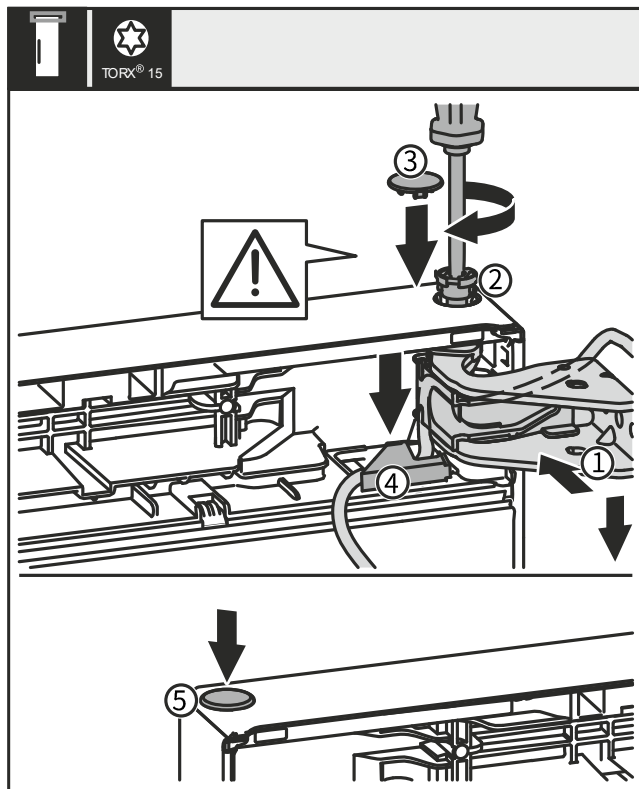


図33

- ドアヒンジ①を差し込み、穴に合わせます。
- ボルト②を上から差し込み、T15のトルクスドライバーでしっかりと締め込みます。
- ボルトを取り付けた穴にカバー③を取り付けます。このとき、カバーがドア表面から飛び出していないことを確認してください。
- ドア表面と段差がある場合は、ボルトの締め込みを再度確認し、完全に挿入してください。
- 配線カバー④をツメがカチッと音がするようにはめ込みます。
- 吊元と反対側のカバー⑤をはめ込みます。

⚠ 注意

- 工具等で配線を傷つけたり、ヒンジに配線をはさまないように慎重に作業を行ってください。
- 配線のマーキングはホルダーの中心に、ツメの長い切り欠きが前側に来るようにしてください。

ドア吊元の交換

8. 配線・コネクタの取り付け

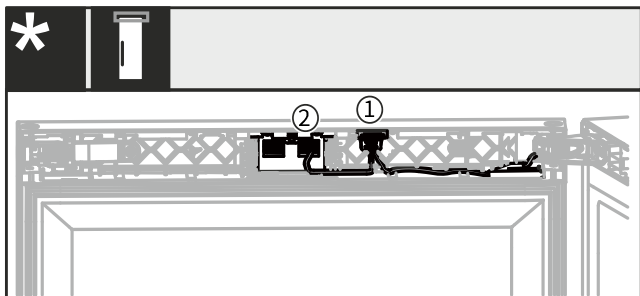


図34

- 配線をドア上部のガイドに挿入します。
- コネクタ ①、② を新しい吊元側にある端子に差し込みます。

9. 画面の取り付け

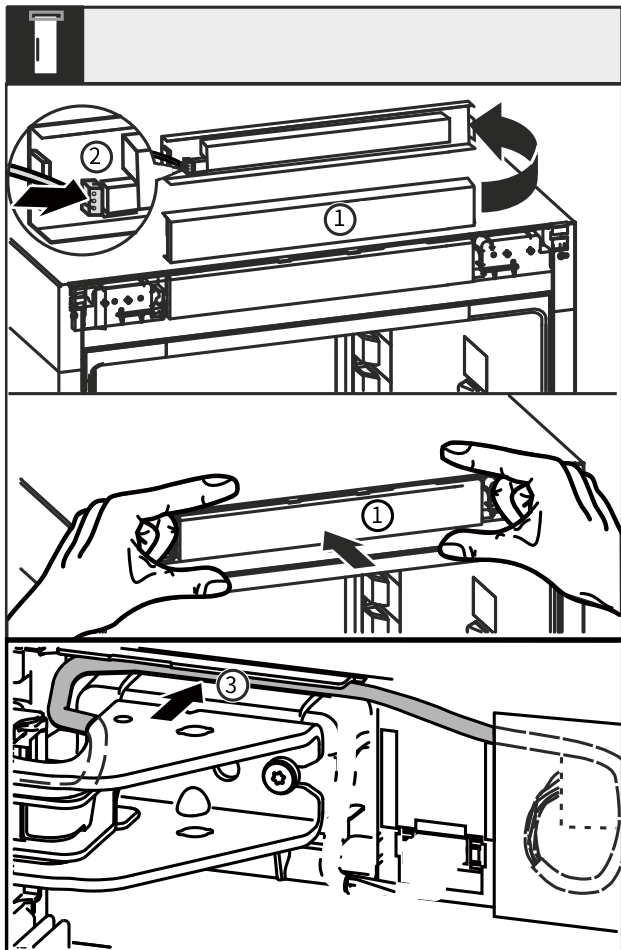


図35

- 操作パネル ① を回転させ、配線に注意しながらコネクタ ② を差し込みます。
- 操作パネル ① を元の向きに戻し、製品に取り付けます。

- 配線をヒンジに挟まないよう注意しながら、上側の溝 ③ に入れ込みます。

10. カバーの取り付け

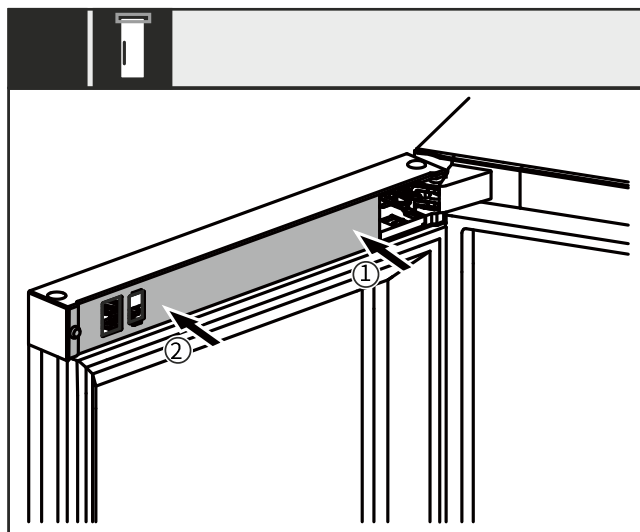


図36

- ドアを90°に開きます。
- カバー ① のツメを新しい吊り元側に差し込みます。
- カバー ② のツメを新しい戸先側に差し込みます。

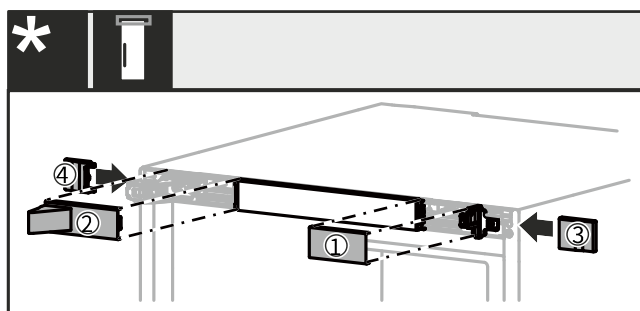


図37

- 左右カバー ①、② を180度回転させ、破損させないように取り付けます。
- アウターカバー ③、④ を180度回転させ、横からスライドするようにして取り付けます。

ドア吊元の交換

11. ドアダンパーの取り付け

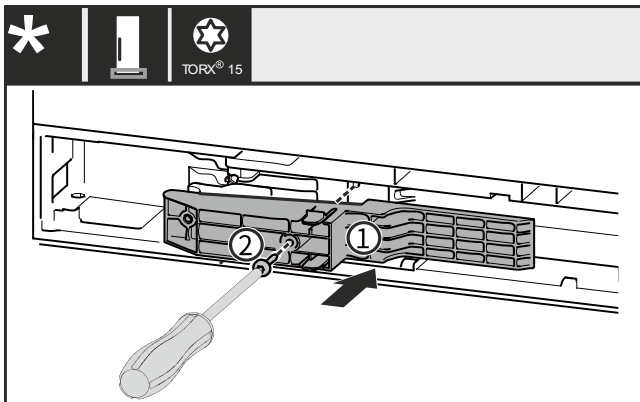


図38

- 図6 で取り外したダンパー部品 ① を180度回転させ、新しい戸先側に差し込みます。
- T15のトルクスドライバーでねじ ② を締め込みます。

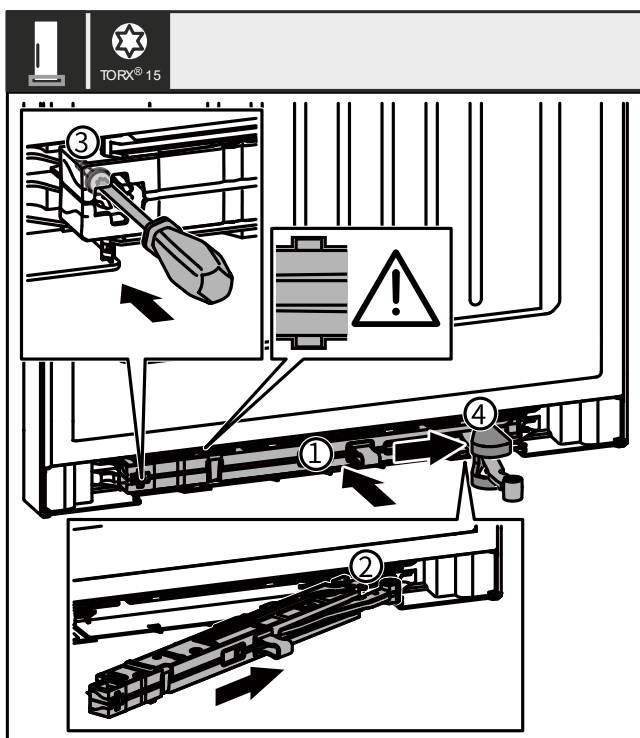


図39

- 角度を付けながらドアダンパー ① をヒンジ側 ② からスライドさせて差し込みます。
- ドアダンパーをくぼみに完全にはめ込みます。
- リブがはまり、ドアダンパーが正しい位置に収まっていることを確認してください。
- T15のトルクスドライバーでねじ ③ を固定します。
- 図4 で取り外したベアリングカバー ④ をダンパーレバーに通します。

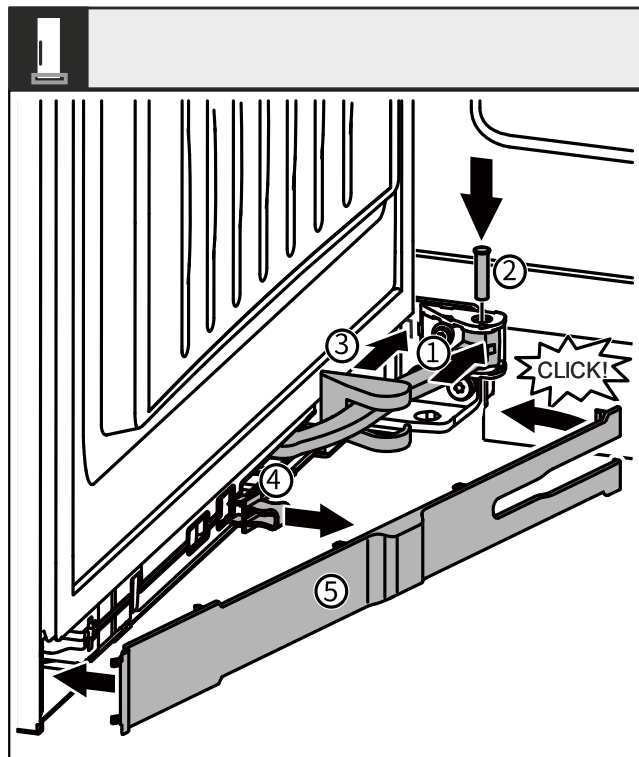


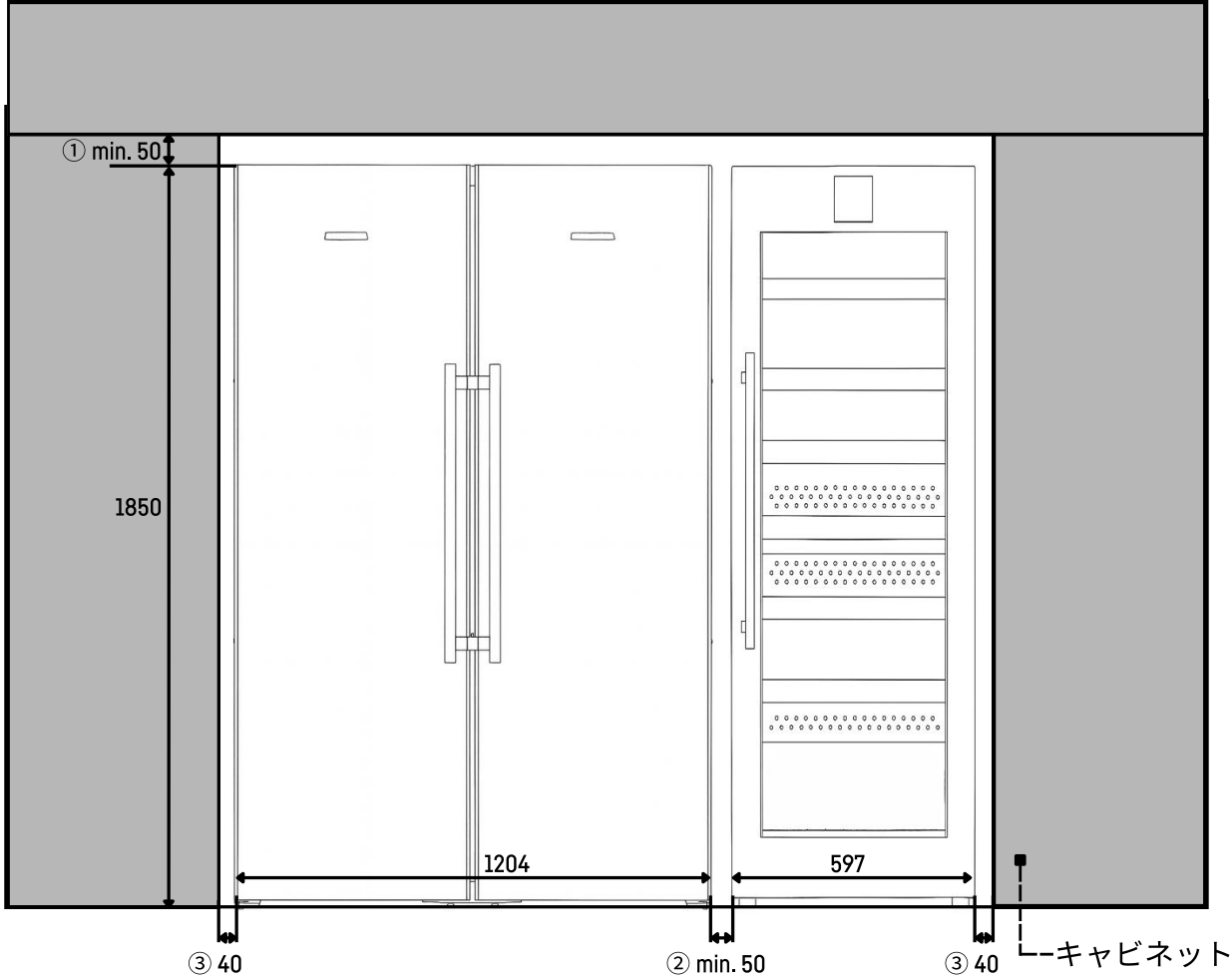
図40

- ドアを90度を開きます。
- ヒンジ ① を軸に合わせ、ボルト ② を差し込みます。
- ベアリングカバー ③ をダンパーレバーに沿わせながら、マウントに取り付けます。
- 安全ストッパー ④ を取り外します。
- ヒンジカバー ⑤ のツメを入れながらしっかりとめ込みます。

サイドバイサイドモデルとの並列設置

- 本機器は別機器のサイドバイサイドモデルと並列して設置が可能です。
- 設置条件については下記設置図をご参考ください。

XRFsdh 5265 + WPsd 5262（設置図例） 単位：mm



並列設置時のクリアランス

- ① 製品本体からキャビネット上部までは最低50mmのクリアランスを確保してください。
- ② 機器同士のクリアランスは最低50mmを確保してください。
- ③ キャビネットと製品のクリアランスを40mm確保して頂くと。キャビネットと製品の表面を揃えた状態でドアを115度（最大開閉角度）に開くことができます。
その他設置時のドア開閉クリアランスの詳細については、6ページをご参照ください。

コンビネーション設置推奨モデル

- XRFsdh 5265
- XRCsdh 5265
- XRCsdh 5266

- ドイツLIEBHERR社は品質・性能向上のため絶えず改良を重ねております。
- 機器の仕様は予告なしに仕様が変更されることがありますので、あらかじめご了承ください。

1010925

インタックSPS株式会社

〒104-0061

東京都中央区銀座7-13-5 NREG銀座ビル5F

TEL: 03-6264-2970 FAX: 03-6264-2973

E-mail: info@intac-sps.co.jp

Web: www.intac-sps.co.jp

＜お問い合わせ フリーダイヤル＞



0120-915-546

【受付時間】

9:30～17:30（土日・祝日・夏期・年末年始の休業期間を除く）